

競技注意事項

2019 県中学新人

1 本大会は 2019 年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項によって実施する。

2 ナンバーカード（ビブス）について

- (1) ユニフォームの胸、背に確実につける。跳躍競技は胸または背につけるだけでもよい。
- (2)トラック競技に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバー標識を配付する。
ランニングパンツの右横やや後方に、そのままの大きさと明確に数字が読めるようにつける。
- (3) 腰ナンバー標識はフィニッシュ後、直ちに係（ゴール前方スタンド側）に返却する。

3 ウォーミングアップ場について

- (1) ウォーミングアップは、パロマ瑞穂北陸上競技場を最終種目の招集開始時刻まで使用できる。
※レーン使用区分は原則として次のとおりとする。
1・2レーンは中・長距離、3～6レーンは短距離、7・8レーンはハードル
- (2) 投てき種目は、競技開始前に各ピットで競技役員の指示により行う。北陸や多目的広場、競技場周辺等では行わない。
- (3) パロマ瑞穂スタジアム **2階室内雨天走路の使用は禁止とする。**雷雨等避難場所として使用することもある。その際は放送で指示をするので、競技役員の指示に従うこと。
- (4) 本競技場のトラックは、ウォーミングアップのために、大会の準備に支障のない範囲で、出場競技者に限り、最初のトラック競技開始時刻15分前まで使用できる。
- (5) 北陸上競技場において、直走路でのスターティングブロックの使用は100mHの練習を除き、**110mHのスタートライン**から行うこと。（事故防止・安全確保の措置）
- (6) 使用した器具は、各自で責任を持って片づけること。

4 招集について

- (1) 招集所は正面スタンド下、競技者ホール(100m スタート付近)に設ける。
- (2) 招集は本人が行い、時間に遅れたものは棄権とみなして出場を認めない。
- (3) 招集開始時刻及び招集完了時刻は、当該競技開始時刻を基準とし、次のとおりとする。

	招集開始	招集完了
トラック競技	30分前	20分前
フィールド競技	40分前	30分前

- (4) リレーの**オーダー用紙は、招集完了60分前までに招集所に提出する。**用紙は招集所に用意する。
- (5) 他の種目に出場しているなど特別な事由がある場合、代理人による招集を認めるので競技者係主任（招集所）に事前に申し出る。

5 競技場への入退場について

- (1) 入場は、すべて招集所より係員の誘導により行う。
- (2) 退場は、下記による。
 - ・トラック競技 フィニッシュ地点退場口から、階段を上がり**2階の雨天走路（全天候）の両端を**通って退場する。（正面スタンド下、本部室前を通行しない）
または、**1階中通路をスパイクを脱いで通行する。**
 - ・フィールド競技 競技役員の指示・誘導による。

6 レーン・試技順について

- (1) トラック競技のレーン、フィールド競技の試技順は、プログラムで示す。
- (2) 決勝のレーンは、主催者において公平に抽選し、その結果はスタンド正面階段上の記録掲示板に掲示する。
- (3) 欠場者のレーンはあける。

7 トラック競技の次のラウンド進出の決定について

- (1) タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定について、同記録がありレーン数が不足する時の処置は、写真判定主任が 0.001 秒の実時間を判定して出場者を決定する。それでも決定できない時は抽選とする。（競技規則第 167 条）
- (2) 抽選は、番組編成員が該当者をアナウンスにより招集して行う。アナウンスしてから 10 分以内に本部へ集合する。
- (3) 進出決定者は、アナウンス及び大型ビジョン、スタンド正面階段上の掲示板で発表する。
- (4) A・B 決勝を行う種目について
「3 着 + 10」などの種目は、予選 3 着 + 上位記録 2 名で A 決勝、+ の 3 番目 ~ 10 番目の 8 名で B 決勝を行う。

※いずれにおいても、A 決勝進出者が決勝を棄権しても、B 決勝から A 決勝への繰り上げは行わない。

8 競技について

- (1) トラック競技は、競技規則 162 条 6・7 により、不正スタートをした競技者は 1 回目で失格とする。
- (2) フィールド競技の招集後競技開始前の練習は、審判員の指示によって行う。
- (3) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記のとおり。状況により変更することがある。

	練習		1	2	3	4	5	
男子走高跳	1m50	1m70	1m55	1m60	1m65	1m70	1m73	以後 3cm
男子棒高跳	2m40	2m80	2m50	2m70	2m90	3m00	3m10	以後 10cm
女子走高跳	1m30	1m50	1m35	1m40	1m45	1m48	1m51	以後 3cm
女子棒高跳	1m80	2m40	1m90	2m10	2m30	2m40	2m50	以後 10cm

- (4) 走高跳・棒高跳の練習は 2 つの高さを時間で区切って行う。競技者は、その時間内で競技役員の指示のもと自由に練習してよい。
- (5) 第 1 位決定の場合のバーの上げ下げは、走高跳では 2 cm、棒高跳では 5 cm とする。
- (6) 棒高跳競技者は「棒高跳支柱位置申請」を競技場所で行う。

9 競技用器具について

- (1) 競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。
ただし、棒高跳用ポールは、個人所有のものが使用できる。
- (2) フィールド競技の助走に使用するマークは主催者が用意する。2 個まで使用できる。また、サークルから行う投てき競技は、マーカーを 1 個だけ使用できる。走高跳はテープを持参して使用する。
- (3) リレーのマークは主催者で用意する。ただし、競技規則に適合するものであれば、各学校で用意したマークを使用できる。

10 競技用靴について

スパイクピンの長さは 9 mm 以内。ただし、走高跳・やり投は 12mm 以内とし、スパイクピンの先端近くで少なくとも長さの半分は、4 mm 四方以内でなければならない。スパイクピンの数は 11 本以内とする。

11 表彰について

- (1) 各種目の優勝者 ~ 8 位には賞状を授与する。
- (2) A・B 決勝を行う種目は、A 決勝出場者のみ表彰の対象とする。
- (3) 表彰式は 1 ~ 8 位入賞者に対して行うので成績発表後、本部表彰室に集合する。
- (4) 学校対抗の表彰については、全競技終了に行います。放送で発表後、男女各 1 位から 8 位の学校の代表者 1 名（優勝校は 2 名）は、本部前に集合する。

12 パロマ瑞穂スタジアムの使用について

- (1) バックスタンドの最上部以外には応援幕、部旗等を張ってはならない。
- (2) 応援はスタンドで行う。スタンド最前列通路で立っての応援や本部席前通路や競技場内に立ち入って行わない。
- (3) 清掃・ゴミ処理は、各学校、各自で責任もって行き、環境美化に努める。

各自「ゴミの持ち帰り」をお願いします。競技会終了後の「清掃・ゴミ処理」は一部の学校の部員の奉仕活動により行われており、その労力は多大なものとなっております。
他人に迷惑をかけないよう、互いに気配りください。
この大会は清掃当番を 守山西中学校 と 鳴子台中学校 をお願いしてあります。
清掃当番校は、競技終了後ただちに本部前に集合して下さい。

13 その他

- (1) 大型ビジョンを活用して競技会運営を行うので、氏名・所属等の訂正は、本部に申し出る。
- (2) 400m までのレーン使用の競技では、フィニッシュ後も安全確保のために、自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走り、減速し止まること。
- (3) リレーは、バトンを渡し終わってもすべてのチームが通過するまで自分のレーン内に止まる。
- (4) 更衣室は更衣のみに使用し、荷物は置かないようにする。更衣後の荷物は、各自で管理する。
- (5) 貴重品類は、各自で保管する。万一の事故があっても、責任は負わない。
- (6) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、医務室（フィニッシュ付近スタンド下）において処置を受ける。なお、応急処置後の治療は、本人負担とする。

愛知陸協強化委員会医事部会が、競技者のコンディショニングと応急処置に当たっています。けがの治療だけでなく相談業務も受け付けていますので、積極的に医務室をご利用ください。なお、テーピング用のテープは利用者で負担（持参）してください。

- (7) 記録証は、400 円を添えて、記録室へ申し込む。（送料込み）

◆選手の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください◆

※保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。

※観客席での撮影禁止をさせていただくエリアは下記の席です。

◎各種目のスタート後方

◎走高跳、走幅跳、三段跳、棒高跳の助走後方・着地前方

◎走高跳マットに向かった正面（クリアランス動作中）

・選手がスターティングブロックの足合わせを行っている間や、試技を待っている間、身体を動かしている間など、競技の準備を行っている時。

※また他者に著しく迷惑をかける行為と主催者が判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡します。